



生活困難を解きほぐす

先日、東京都主催の認知症サポート医のフォーアップ講習会がありました。ここではオンラインドクターという地域で



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

認知症に関心のある医師が少数ずつに分かれ、グループワークを行いました。テーマは「精神疾患を抱えている患者さん

を認知症のあるご家族が支えている。この状況をいかに地域で支えていくか」という内容でした。

実はこのようにテーマを初め書きましたが、後で知ったことには、病院

からは「このご家族をなんとかしてほしい」と漠然とした内容で、地域包括支援センターに依頼があったことから始まったことと

方があるが、その方が経済的に困っていて入院費が支払えない」「お母さんは認知症で判断能力が落ちてきている」という事例があることなどが、掘り下げて分かってきました。そこから、認知症の診断をしたかかりつけ医に繋げ、後見人はどうするなどの話に発展して

いかに地域で支えていくか」という内容でした。実はこのようにテーマを初め書きましたが、後で知ったことには、病院

りない、医者の仕事じゃないのと怒り出す先生がいます。そこで感じたことは、認知症患者さんの数が急激に増える世の中で、医師は地域と協業して、患者さんの生活のあり方を

と、「入院している方を一から考えていく時

[まつばらホームクリニック]
☎ 042-439-1250
matsubarahomeclinic@gmail.com
西東京市東町 4-14-18-2F
■電話対応: 午前9:00~午後6:00
■定休日: 土日 (祝日は診療)
■訪問地域: 西東京市、東久留米、新座・練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索